

空き巣などの被害にあわないために

県内の住宅や店舗、事業所等に対する侵入窃盗犯罪は、令和4年中に1,313件発生しています。

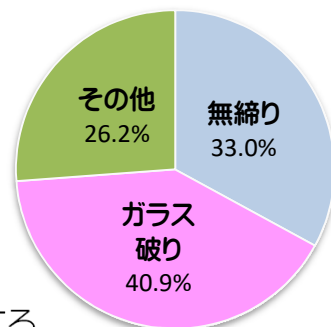
このうち住宅を対象とした侵入窃盗犯罪は531件発生しており、侵入窃盗犯罪40.4%を占めています。

防犯対策のポイント

■ 被害にあった約3割が、鍵をかけていませんでした。

- ・ ゴミ出し等近所へのちょっとした外出時でも、忘れずに戸締まりをする。
- ・ 在宅中でも人が不在となる部屋の窓は鍵掛けをする。
- ・ 高窓やトイレ、浴室の窓は、大きさや高さ、柵の有無に関わらず必ず施錠する。

住宅対象侵入窃盗の侵入方法



■ 泥棒は人に見られることを何より嫌います。

- ・ 垣根の刈り込みをして、建物の見通しを良くする。
- ・ 防犯カメラやカメラ付きインターホン（録画機能付き）を設置する。
- ・ センサーライトやドアセンサーを取り付け、通過の際に光や音で知らせる。
- ・ 窓下や侵入口となりやすい付近に、踏むと音の出る防犯用砂利等を敷く。

■ 侵入から犯行を終えて逃走するまで、わずか数分というケースもあります。

なかなか鍵が開かなかったり、ガラスが割れなかつたりと時間がかかるほど侵入をあきらめる率が高くなります。侵入されにくい防犯対策を取りましょう！

- ・ 窓ガラスに防犯フィルムを貼ったり、防犯ガラスに交換する。
- ・ 窓やドアに補助錠をとりつけて、ワンドア・ツーロックにする。
- ・ 室外機や物置は、侵入時の踏み台や足場にならないよう、壁から離して設置する。

■ 集合住宅でも用心を！

- ・ 共用玄関は、内外を見通せる扉でオートロックシステムのものがより安全
- ・ 共用玄関以外の出入り口も、自動施錠機能付きのオートロック扉にする。
- ・ 共用玄関・出入り口の防犯機能を過信せず、自室出入口・窓の施錠は確実にを行う。
- ・ 二階以上でもベランダ越しに侵入される場合があるので、窓の鍵は必ず施錠する。

■ みなさんの「目」が一番の防犯対策です。

見知らぬ人には「こんにちは！」とあいさつをしてみましょう。

泥棒が犯行をあきらめた理由の多くは、「人に声をかけられた」から

- ・ 普段から近所の人と挨拶をする。
- ・ 長期で家を空けるときは隣家に一声かける。
- ・ 近隣とのコミュニケーションを積極的に行い、泥棒に狙われないまちづくりをする。

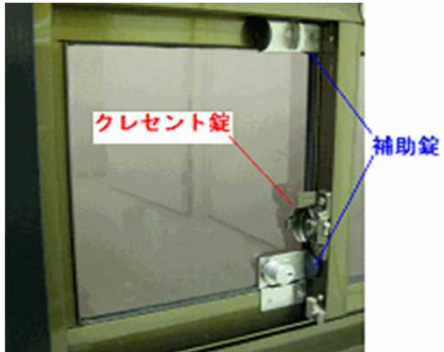


泥棒に狙われない家にしましょう!!



■ 防犯対策の例

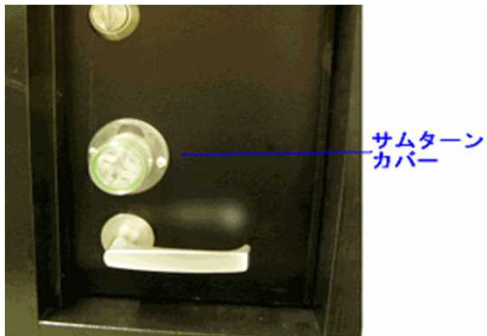
補助錠



補助錠



サムターンカバー



防犯フィルム

